

有害プランクトン情報 R7-1号 第19報

赤潮注意報 (伊万里湾)

令和7年8月14日

佐賀県玄海水産振興センター

伊万里湾でカレニア ミキモトイ、シャットネラ属、
コクロディニウム属が確認されています。

8月14日の伊万里湾での調査の結果、カレニアミキモトイが確認され、最高細胞数は造船所前(3.5m)の48細胞/mlです。また、有害種であるシャットネラ属も確認され、最高細胞数は晴気(0m)および大浦浜(0m)の2細胞/mlです。さらに、有害種であるコクロディニウム属も確認され、最高細胞密度は晴気(0m)の28細胞/mlです。

今後の天候・海況によっては、さらに増殖する可能性もあります。養殖業者等におかれましては、海水の着色や養殖魚貝類の状況に注意し、以下の対策を検討してください。

<input type="checkbox"/> 貝類 養殖・蓄養	巻貝	注意報 (カレニア)	・移動・深吊りの準備と実行 ・早期出荷
【留意点】 ・カレニアミキモトイは魚介類のへい死を引き起こす非常に有害なプランクトンです。 ・カレニアミキモトイは海面が着色していなくても、中底層に赤潮を形成していることがあります。特に、アワビ、サザエ等では、海面が着色する前にへい死する可能性があります。			

 調査地点図

 ● カレニアミキモトイの注意・警戒密度
 【対象：巻貝】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：50 細胞数/mL



カレニア ミキモトイ

【対象：魚類・二枚貝】

注意基準：100 細胞数/mL

警戒基準：1,000 細胞数/mL

● シャットネラ属の注意・警戒密度

【対象：魚類】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：100 細胞数/mL



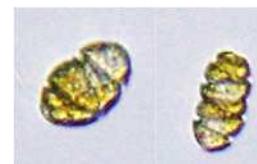
シャットネラ属

● コクロディニウム属の注意・警戒密度

【対象：魚類】

注意基準：50 細胞数/mL

警戒基準：500 細胞数/mL


 左：コクロディニウム ポリクリコイデス
 右：コクロディニウム カササ型

■ 次のページに、調査地点ごとの細胞密度を示しています。

有害プランクトン情報 R7-1号 第19報

赤潮注意報 (伊万里湾)

調査年月日：令和7年8月14日

採水時間：8時45分～10時40分

□ プランクトン細胞数

(細胞/ml)

(細胞/ml)

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属	コクロディ ニウム属	珪藻類
① 晴気 (水深 16.0 m)	0	8	2	28	75,000
	5	0	0	0	8,000
	10	0	0	0	790
	B-1	2	0	0	18,800
② 阿漕 (水深 17.9 m)	0	0	0	0	37,070
	5	2	0	2	8,320
	10	0	0	0	4,010
	B-1	0	0	0	2,020
③ 大浦浜 (水深 11.5 m)	0	0	2	0	35,000
	5	0	0	0	5,000
	B-1	0	0	0	10,000
④ 波多津 (水深 7.8 m)	0	4	0	0	78,016
	5	6	0	0	13,228
	B-1	0	0	0	30,012
⑤ 福島南 (水深 11.1 m)	0	0	0	0	88,244
	5	2	0	0	14,000
	B-1	0	0	0	15,000
⑥ 伊万里港 入口 (水深 12.4 m)	0	0	0	0	100,000
	1	0	0	0	119,000
	5	0	0	0	3,000
	B-1	0	0	0	14000

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属	コクロディ ニウム属
高串 (水深 16.5 m)	2.0	0	0	0
瓜ヶ坂 (水深 15.8 m)	1.1	0	0	0
大浦浜港内 (水深 11.5 m)	1.1	0	0	0
湯野浦 (水深 9.2 m)	1.1	0	0	20
福島大橋下 (水深 6.4 m)	1.0	0	0	16
クルマエビ センター前 (水深 12.4 m)	1.2	0	0	0
造船所前 (水深 15.1 m)	0	0	0	16
	3.6	48	0	0